

# 現代の経済

## 現代経済のしくみ②

**7** 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

一国の経済は、家計・企業・政府の三つの経済主体によって構成されている。これらのうち企業は財やサービスを生産・提供し、商品として販売する。現代の市場経済のもとでは、規模の大きい企業は株式会社の形態をとっている。

市場経済においては、企業間による自由競争の結果、小規模の企業は淘汰され、企業の大規模化が促進されることが多い。少数の大企業によって構成された寡占市場では、市場支配力をもった有力企業がプライス＝リーダーとなり、( 1 )価格が成立することもある。その場合、需要が減少したり、生産コストが下がっても価格は下がりにくくなり、市場では製品の差別化が行われ、品質や広告などの( 2 )競争に重点がおかれるようになる。わが国では、企業の活動が消費者の不利にならないように独占禁止法を制定し、企業間の自由な競争が阻害されないような政策がとられている。

しかし、市場をいくら競争的に維持しても、市場がうまく機能せず、資源の最適配分が達成できない状態になる場合が、現実の経済社会では見られる。工場排水が原因で汚染が発生するなどの公害のように、市場を経由しないで他の経済主体に悪影響を与える( 3 )などがその例である。

問1 空欄( 1 )～( 3 )に該当する最も適切な語句を、次の中から選び、符号で答えよ。

ア. 均衡    イ. 生産    ウ. 管理    エ. 市場    オ. 非価格    カ. 価格  
キ. 自由    ク. 内部経済    ケ. 内部不経済    コ. 外部経済    サ. 外部不経済

問2 下線部①に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア. 株式会社は、株主の所有する株式数に応じて利潤の一部を配当として分配する。  
イ. 株式会社の株主は、株主総会において株式数に応じた議決権をもっている。  
ウ. 株式会社の株主は、会社に損失が生じた場合は、出資金の範囲内で有限責任を負う。  
エ. 株式会社の経営の実権は取締役会に移行されていて、株主は会社の経営方針に一切関与できないことを、所有と経営の分離という。

問3 下線部②に関して、複数の異なる産業・業種の企業を合併・買収することによって多角的な経営活動を行う大企業を何というか。次の中から選び、符号で答えよ。

ア. カルテル    イ. トラスト    ウ. コンツェルン    エ. コングロマリット

問4 下線部③のことを、経済用語で「価格の( )」という。空欄( )に該当する最も適切な語句を、漢字5字で記せ。

問5 下線部④に関して、わが国の独占禁止政策を実施するために設置されている国の行政機関の名称を、漢字7字で記せ。

問6 下線部⑤のことを、経済用語で何というか。5字で記せ。